

「北方領土返還要求全国大会」に参加して

◆2月7日(土)東京の日比谷公会堂で開催された大会に隊友会市川支部から入場券の手続きをしていただき参加した。主催実行委員会は内閣府・全国知事会をはじめ官民の約70団体で構成されている。自衛隊関係では協議会の幹事団体に「全国自衛隊父兄会」が、また協議会の構成団体に「隊友会」「日本郷友連盟」がなっている。

大会は1部と2部に分かれており、1部では元島民やその家族らから全国各地で返還運動を推進してこられた方、各界の有識者がパネラーとなり北方領土の現状や返還運動の取り組み・問題点等についてディスカッションが行われた。2部は安部総理・岸田外務大臣に続き元島民や運動に取り組む人達から返還に対する熱い思い・決意が語られ、最後に大会アピールが採択された。

また政党では自民党を筆頭に共産党・社会民主党を含め9つの政党が返還要求の「政党決意」を寄せていることが目についた。

◆1部のディスカッションで注目した点

① ディスカッションのパネラーNHK論議委員の石川氏の発言

1885年(安政元年)2月7日に日本とロシアの間に結ばれた「日露通好条約」で日露の国境が択捉島とウルップ島の間に決まった。これは軍事的圧力がない状態で締結された。時のロシア皇帝はニコライ1世であった。当時の世

界において国境が条約により平和的に決まった珍しい事例ではないか。ニコライ1世は軍事的圧力を好まなかったのではないかと考えられる。プーチン大統領はこのニコライ1世を尊敬していると聞いている。50年以上北方領土問題が解決しない中、条約締結時のロシア皇帝の業績を踏まえて交渉の糸口を探すのも方策の一つではないか。

◆最後に

「自分が実現したいことは自分が動かなくては何も動かない」との考えから昨年からの大会に参加している。一人でも多くの人が大会に参加することにより政府・外務省の後押しになると信じます。

【市川支部 弘田雅敏】

◆2部は安部総理・岸田外務大臣が忙しい中、出席して決意を述べられたのが印象的であった。ぜひ返還を実現していただきたいと思う。

◆2部は安部総理・岸田外務大臣が忙しい中、出席して決意を述べられたのが印象的であった。ぜひ返還を実現していただきたいと思う。

◆2部は安部総理・岸田外務大臣が忙しい中、出席して決意を述べられたのが印象的であった。ぜひ返還を実現していただきたいと思う。



第1部 戦後70年 北方領土の返還を求める元島民の声

部隊長交代・相談役委嘱

昨年12月15日付で海自教育航空集団司令部に池 太郎海将が、第21航空群司令部に鎌形義憲海将補が着任され、相談役就任をお願いした。



池 太郎 海将



鎌形義憲 海将補

入隊予定者激励会

3月7日(土)、四街道市文化センターにおいて、千葉県自衛隊父兄会主催、千葉県防衛団体連絡協議会が共催して、今春、県内から幹部候補生学校、防衛大学校、高等工科大学、曹候補生及び自衛官候補生として入隊・入隊する若人の門出を祝った。県隊友会から副会長、各支部長、理事役が参加、主催者を代表して富田会長から代表者に記念品を贈呈した。公に尽くし、人に尽くす志を持って自衛隊の門をくぐる初々しい若者の成長を心からお祈りする。

隊友千葉だより

【事務所 開所時間】
月・水曜日 1300～1700
金曜日 1000～1500

平成27年3月号 千葉県隊友会事務局



〒260-0042 千葉県千葉市中央区椿森1丁目26-9コンラッドビル4階 電話 043-306-2095 FAX 043-306-2096
電子メール chibataiyuu@angel.ocn.ne.jp ホームページ http://www.chibataiyuu.com/

県隊友会通常総会のお知らせ

千葉県隊友会 正会員各位

平成27年度千葉県隊友会通常総会は、次により開催することとなりましたのでお知らせします。

- 1 日時 4月22日(水) 14時30分～16時10分
- 2 場所 三井ガーデンホテル千葉(千葉市中央区中央1-11-1)
- 3 参加者 支部長等及び各支部長の指名する代理人(総会に参加しない会員は、支部長等及び代理人に議決権を委任したことになります。)
- 4 議案 第1号議案(第5号議案) 概要は以下のとおり。
 - 【第1号議案】平成26年度事業報告(案)

◆県は9月30日・10月1日の両日、自衛隊千葉地方協力本部の協力を得て、関東甲信越ブロック研修会を担任実施した。初日の会議には隊友会理事長、本部常務執行役、地域担当執行役及び各都県隊友会長、副会長等22名を迎え、各都県隊友会長が「防災ボランティア活動」について、その実績・現況・問題点・今後の方向等について発表討論し、今後の施策の責を得た。また、東部方面総監部、横須賀地方総監部及び中部航空方面隊司令部から陸海空各自衛隊の現況について説明を受け、御嶽山噴火に伴う災害派遣など自衛隊の活動や新しい装備の状況について理解を深めることができた。同日夜の懇親会には、東部方面総監、中部航空方面隊司令官、県相談役、国会議員の皆様をはじめとする特別会員、県防衛協力諸団体会長、県顧問・参事、各支部長及び県役員、総計120名が参加し、意見交換を行った。翌日、隊友会理事長、本部常務執行役、地域担当執行役及び各都県隊友会長等は、習志野駐屯地を訪れ、第1空挺を研修、その運用、教育訓練及び空挺の歴史について理解を深めた。

◆安房、館山、木更津、千葉稲毛、習志野、山武東金、東葛地区支部連合会、四街道及び成田の各支部等が防衛講演

会を実施した。

◆県本部内に引き続き防災ボランティア・プロジェクトチーム(防災ボランティアPT)を設置し、災害情報協力員制度及び防災ボランティア組織等について検討した。

- ◆会長、県防炎担当理事役、安房・館山・木更津各支部長等は、9月6日に実施された第35回9都県市合同防災訓練千葉県会場訓練(南房総市で開催)を研修した。
- ◆平成26年度千葉県自衛隊入隊予定者激励会を共催した。
- ◆第1空挺団から第2次派遣海賊対処行動支援隊としてジブチ共和国に派遣された隊員の壮行会及び帰国慰労会に会長、習志野支部長、船橋支部長、会員が出席し、激励品を贈呈した。また、第21航空群から派遣海賊対処行動水上部隊に搭載航空機搭乗員として派出され、ソマリア沖アデン湾に派遣された隊員の出国及び帰国出迎え行事に館山支部長、会員が出席するとともに県会長から激励品を贈呈した。
- ◆県内各駐屯地・基地等における開設記念式典・懇親会及び夏祭り等に会長、副会長、近傍支部長、会員が参加した。
- ◆習志野、市川及び千葉稲毛各支部長の協力を得て、招集訓練に参加した予備自衛官に対し講話を実施した。
- ◆病氣死亡の賛助会員に対し、香典を贈呈した。
- ◆下志津駐屯地における自衛隊殉職隊員千葉県追悼式に会長、副会長及び各支部長総勢20名が参加した他、下総航空基地及び館山航空基地追悼式に副会長(海)及び県理事役が参加した。
- ◆四街道・千葉稲毛・千葉若葉・木更津・八街・佐倉・浦安各支部から総勢22名が参加、下志津駐屯地追悼式場「鎮の庭」の樹木剪定・清掃を行い、

平成26年度自衛隊殉職隊員千葉県追悼式の整齊たる実施に貢献した。

今春、県内から入隊・入隊する380名のうち、149名が出席、父兄・豊田俊郎参議院議員、在葉部隊長等来賓が見守る中、一人一人紹介された。



富田会長から記念品(定番の裁縫セット)を贈呈

憲法改正1千万人署名へご協力を

- ◆今回、署名用紙及び趣意書を配付しています。
- ◆各自、賛同者を募った後、ファックスにて県事務所へ返送(郵送またはPDFメールでも可)
- 【ファックス番号】043-306-2096
- ◆千葉県の目標は2万8000名
- ◆時期Ⅰ第1回目は本年7月末日までの署名分を8月1日までに県事務所
- ◆第2回目は平成28年2月末日までの署名分を3月1日までに県事務所、それぞれ県事務局で取りまとめ、隊友会本部に送付
- ◆署名対象は高校生以上、紹介欄には千葉県隊友会、署名欄は10名分が望ましいが、満たなくてもOK、他団体(防衛諸団体、国民の会関連団体)と重複しない。相手方の賛同があれば代筆でもOK。

- ◆千葉県護国神社春季及び秋季大祭前に延べ69名が参加、神社境内の清掃を行うとともに春・秋大祭当日、延べ29名が交通統制の奉仕を行った。
- ◆各支部は地域所在慰霊碑周辺の草刈奉仕及び慰霊祭に参加した。
- ◆各支部は市民講座等の講師、地域の防犯指導、学童交通指導、清掃奉仕活動等に協力した。
- ◆松戸駐屯地において正会員65名が参加し、部隊研修を実施、需品学校、関東補給処松戸支処及び第2高射特科群の施設・装備を研修し、陸自需品科施策及び最新の陸自防空装備について理解を深めた。
- ◆県ホームページを月1回を基準に掲載記事を更新、在葉部隊及び県隊友会の活動等を紹介した。
- ◆5月16日、四街道支部が幹事となり、第8回県隊友会ゴルフコンペを開催した。
- 【第2号議案】平成26年度決算(案)(平成27年1月末現在)
- ◆収入Ⅰ1千176万2千679円(当年度収入②)Ⅱ595万2千518円
- ①前年度繰越額Ⅱ581万161円 ②会費収入Ⅱ254万7千円 ③寄付金収入Ⅱ66万8千100円 ④事業収入Ⅱ230万5千192円 ⑤雑収入Ⅱ43万2千226円
- ◆支出Ⅱ563万3千477円
- ①事業費Ⅱ300万5千962円 ②管理費Ⅱ26万7千85円 ③諸支出Ⅱ0 ④予備費Ⅱ0円
- ◆次年度繰越額Ⅱ612万9千6百32円
- 【第3号議案】平成27年度事業計画(案)
- 1 方針
- ◆県隊友会は、県民と自衛隊のかけ橋として防衛意識の普及高揚に努め、国の防衛及び防災施策、

自衛隊諸業務などに対する協力・支援、慰霊顕彰事業並びに地域の健全な発展に寄与する事業を積極的に推進し、防衛基盤の構築に寄与する。

このため、公益目的事業及び収益事業の充実定着化を推進し、会活動の活性化及び会基盤の充実強化を図るとともに、会員の福祉と親睦のための事業を継続しつつ会の魅力化に努める。

特に、今年度は、会勢の拡大、県役員・支部長の後継者の確保等、内部態勢の充実に努める。

2 主要事業
◆支部総会や地域の各種会同等を活用して会員及び市民等を対象とした防衛・防災講演会を開催する。

◆県本部内に引き続き防災活動について検討する防災ボランティアPTを設置する。

◆防災ボランティアの他に自衛隊・自治体の防災訓練への協力、防衛講話、自衛隊員へのカウセンシング等のボランティア事業に参加意欲を有する会員を募り、ボランティア人材バンクに登録する。

◆自衛隊、地方自治体、町内会等が行う防災訓練等に機会を求めて参加（研修）し、また、災害情報協力員制度を維持し、災害発生時の情報収集支援に協力する。

◆3月の入隊者予定者激励会を共催・支援する。
◆千葉県に所在する陸・海・空各自衛隊・要員が国際貢献活動及び大規模災害派遣に従事する場合は、激励・慰問等の支援を実施する。

◆県内の駐屯地・基地及び部隊等の実施する記念行事等に参加するとともに駐屯地・基地諸業務を支援する。

◆予備自招集訓練実施時期には、理事役又は支部長等の適任者による防衛講話の実施に努める。
◆公務及び病気死亡の賛助会員に対し、香典を

贈呈するとともに殉職自衛隊員千葉県追悼式及び各駐屯地・基地で行われる殉職自衛隊員追悼式に参列する。

◆下志津駐屯地殉職自衛隊員慰霊施設「鎮の庭」の剪定・清掃支援を実施する。

◆千葉県護国神社で行われる春秋の大祭のご奉仕を積極的に実施する。

◆各支部は地区内（又は近傍）において行なわれる戦没者の慰霊顕彰行事等に参加・協力するとともに、陸・海軍墓地、慰霊碑、忠魂碑等の清掃維持管理等の支援に努める。

◆各支部は県内各地区で開催される各種の体育大会等に協力するとともに、市町村や町内会等が行う市民講座、防犯活動、学童交通指導、清掃奉仕活動等の地域活動に機会を求めて積極的に参加・協力する。

◆英憲にこたえる会、北方領土返還要求運動及び憲法改正運動等に協力する。

◆県本部内に会勢拡大策の検討及び実行のためのプロジェクトチーム（会勢拡大PT）を設置し、隊友会本部及び在葉部隊と連携し、各種施策を講じ、会勢の拡大を図る。

◆正会員に対して隊友新聞を配付するとともに、特別会員には、隊友新聞及びディフェンス等を配付する。この際、正会員には、手配りの推進に努める。

◆隊友千葉だよりは、2ヶ月に1回を基準に発行し、努めて多くの会員に配付して会員相互の意思疎通を図るとともに会活動の周知を図る。また、各支部は支部の活性化と意思疎通を図るため、支部だより等の発行に努める。

◆会員（特別会員を含む）は、館山航空基地を研修し、海自対潜哨戒ヘリコプター部隊の現状について理解を深める。

◆入会後10年を経過しかつ75歳未満の終身会員には、会運営協力費として年間3千円の寄付をお願いする。

◆九大食品及びセレモア関連事業を引き続き実施するとともに、本部施策による収益事業の推進に努める。この際、収益の一部を協力支部に還元する。

◆支部長等は、年1回、支部会員を招集し、支部等総会を実施する。

◆第4号議案「平成27年度予算（案）」
収入11千176万6千132円（当年度収入①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺）

①前年度繰越額1612万9千632円 ②会費収入1333万5千円 ③寄付金収入1140万4千円 ④事業収入46万7千円 ⑤雑収入43万5千円
◆支出1575万7千500円
①事業費277万9千500円 ②管理費192万8千円 ③諸支出100円 ④予備費15万円

◆次年度繰越額1600万8千632円
【第5号議案】役員交代（4月22日付）
◆退任11名 富田 稔、副会長（海） 河野美登、理事役 標 光毅（陸）、同 本間好道（陸）、同 安達孝昭（海）、同 土屋富男（空）、顧問 富岡幸雄、佐倉支部長 根本 博、木更津支部長 林 州昭

◆新任11名 河野美登、副会長（海） 安達孝昭、理事役 山田博美（陸）、同 門岡慎也（陸）、監事役 本間好道、顧問 富田 稔、佐倉支部長 森田悦明、木更津支部長 青木清治

平成27年1月・2月入会者

祝入会【敬称略・順不同】
入会深謝・隊友会の発展にご協力を

- 【四街道】 田淵 達哉
- 【柏】 清水 久晴
- 菅野 守
- 【松戸】 水木 勝義
- 田家 憲昭
- 【佐倉】 爲田 浩
- 【千葉若葉】 田中 四郎
- 田中 多鶴子
- 山田 博美
- 安摩 義久
- 遠藤 秀一
- 【船橋】 笠井 誠
- 【香取】

予備自衛官講話

千葉稲毛支部会員感冒道隊友は1月20日（火）下志津駐屯地において実施された予備自衛官招集訓練（担任II高射教導隊第4中隊）において、予備自65名に対し、「最近の防衛情勢」と題して講話を行った。同講話には、千葉地本西村護衛課長、同機元予備自班長、高谷県理事役も立会。



予備自担当理事役 本間好道

女性部会新年会

女性部会 日井久美子会長は、1月31日（土）、京葉銀行文化プラザにおいて恒例の千葉県自衛隊協力会女性部会新年会を開催した。会には千葉県自衛隊協力会連合会、千葉県隊友会、千葉県自衛隊父兄会、千葉県自衛隊援護協力会及び千葉市自衛隊協力会が共催し、県内陸・海・空自衛隊の各部隊等の長、佐渡斎四街道市長、宮本泰介習志野市長、宇都隆史参議院議員夫人等が来賓として出席。県隊友会からは、藤尾顧問、富田会長、河野・小淵各副会長、朝日・森各支部長、内田・精山各理事役計8名が参加した。第一部では、門山宏哲（ひるあき）衆議院議員が「集団的自衛権について」と題して講演された。氏は、マスコミを含めて国会議員でも「集団的自衛権」について、集団安全保障やいわゆるグリーンシーレーン事態と混同するなど、ばらばらな認識を前提に議論しているものが多く、かみ合っていないとし、その定義や自衛権及び自衛権行使の要件などについて、憲法・国連憲章の条文、砂川判決などをもとに丁寧・分かり易く説明された。



白井会長挨拶



在葉部隊長も登壇して中締め

沼南支部総会

沼南支部（中山忠正支部長）は2月7日（土）11時から柏市内海鵬荘において正会員25名が参加して支部総会を開催。26活動報告等を承認後、同支部会員でもある永岡雅史理事役が昨年6月協力団体（隊友会）の交流事業として参加した北方四島の訪問について、その現状・所見等について、レジメとスライドを用いて説明。奇しくも2月7日は「北方領土の日」でタイミングのよい講話であった。その後、浜田穂積千葉県議会議員は、懇親会に先立ち県政の状況（インフルエンザ蔓延に備えて）を説明され、インフルエンザの抗ウイルス薬（タミフル等）を国として50%備蓄することが決定され各都道府県がその準備を進めていること、東京都は60%を備蓄しているのに対し千葉県は20%程度しか準備されていないこと、千葉県は20%程度しか準備されていないこと、有効期限は5年で廃棄処分されること、ことからこれらの施策に反対している党もあるなど、問題点を強調された。懇親会では、参加者の自己紹介などもあり、会員の親睦和を大いに深めた。



千葉県隊友会沼南支部総会 平成27年2月7日

県トライアスロン連合会から表彰される

県隊友会は、千葉県トライアスロン連合会（CTU）から表彰された。受賞式・懇親会は2月11日（水）16時からホテルグリーンタワー1幕張において実施され、中山忠正沼南支部長が県会長名代で出席、満園哈爾沼南支部長、河西伸人理事役も随行した。CTUは県内及び全国大会活躍者、審判活動貢献、65歳以上会員登録者等を対象に表彰している。沼南支部は手賀沼トリアスロン大会開催当初から9年連続して、本大会の運営に協力した功績で表彰された。今回の受賞者は、沼南支部を含む団体2、個人エリート2の部で日本ランキング1位上田藍選手以下6名、エイジの部功労者12名、エイジ優秀選手賞19名（第1空挺団伊藤孝志2曹を含む）であった。



表彰状を受ける中山沼南支部長

四街道支部総会

四街道支部（中尾英夫支部長）は1月12日（月）10時半から四街道市文化センターにおいて秋本真利衆議院議員、知久光夫氏他の特別会員、山田貞夫市父兄会長、富田県会長、北野明子予備自室長、隣接の千葉若葉・緑支部会員を来賓に迎え、正会員44名が参加して開催。26事業報告等を承認した。その後、陸自研究本部研究室長 大西正浩1等陸佐を講師に迎え、「東日本大震災における災害派遣活動」と題した講演を聴講した。大西1陸佐は、震災時、破損した原発に緊急放水したヘリ部隊の指揮官であり、身の危険を顧みず放水任務を達成した当時の緊迫した活動報告に皆、聴き入った。懇親会には、総会・講演会参加者に加え、水野賢一参議院議員、西田 謙元衆議院議員、佐渡斎四街道市長、岡村千葉県議会議員、飯盛 進高射学校長、前田文典千葉地本長他、多数の来賓が出席、盛大に行われた。

成田支部（朝日 章支部長）は2月22日（日）11時から市内において富田県会長、小泉成田市自衛隊協力会会長、小池千葉県議会議員、赤羽成田市危機管理課副参事、青柳千葉地本成田支所長、川奈大日精化職城支部長他を来賓に迎え、正会員23名が参加して開催。26事業報告等を審議了承した。引き続き、成田市議会議員 小山 昭氏を講師に迎え、「国家戦略特区について（成田市の対応）」と題した講話を聴講。氏は政府が進めている国家戦略特区の考え方とこれまでの経緯、国家戦略特区の指定状況及び国家戦略特区法概要について述べたのち、全国6か所の指定地区の中の一つである成田市の取組について説明された。席を変えた懇親会では、鈴木富里市議会議長に挨拶を頂いた後、稲垣副支部長の乾杯で懇談へと移行。余興として、地元名取の女性2名と朝日支部長による日本舞踊、一木事務長の居合演舞、カラオケ競演などを大いに盛り上げ、2時間という時間はあっという間にすぎ、午後2時半に終了した。